

あしんじゅくの教育

平和宣言都市・環境宣言都市
新宿区

第78号 平成20年(2008年)3月15日 発行

編集・発行 / 新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎3209-1111 <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

西早稲田中学校 新宿中学校の**新校舎が完成**しました!

平成20年4月、西早稲田中学校と新宿中学校が新校舎でスタートします。

平成17年4月に旧戸塚第一中学校と旧戸山中学校の統合により開校した西早稲田中学校は、旧戸山中学校の校舎を仮校舎に、同じく平成17年4月に旧東戸山中学校と旧大久保中学校の統合により開校した新宿中学校は、旧東戸山中学校の校舎を仮校舎にして学んできました。この4月からは、両校生徒とも待望の新校舎で学ぶことができるようになりました。

今回は、両校新校舎の特徴をご紹介します。

問合せ 教育環境整備課(4月1日からは教育施設課)
☎(5273)3107

新宿中学校

高低差のある地形を利用し、正面大階段と中庭を設け、生徒たちがみどりの中で学校生活を快適に過ごすことができるように配慮されています。また、校舎棟とクラブハウス棟が道路上空通路(渡り廊下)でつながり、行き来がしやすくなっています。



和室と屋上菜園

クラブハウス棟にある武道場は、天井が東京ドームと同じ素材でできており、太陽の光を感じられる場所です。ミーティングルームや和室、屋上菜園を備え、地域に開放する施設も充実しています。

新住所：新宿6 15 22(旧大久保中学校)

西早稲田中学校

校舎や体育館等の配置をコンパクトにまとめたことで、区立の小・中学校で最も広いグラウンドとなりました。校舎は外壁断熱材や複層ガラスの採用により熱効率を向上させるなど環境を考慮した構造になっていて、生徒たちが学校を生活の場として快適に過ごすことができるように配慮してあります。



夜間照明のある広いグラウンド

また、広いランチルームはパネルで仕切ることにより多目的な使い方が出来るよう工夫されています。

新住所：戸山3 20 2(旧戸塚第一中学校)

平成20年度

新校の学校施設開放概要

新宿中学校と西早稲田中学校の新校舎を地域のスポーツ・文化・コミュニティ活動の場として学校教育に支障のない範囲で開放します。

使用の際は、団体登録が必要です(体育館夜間の個人使用を除く)。詳しくはお問い合わせください。

また、使用の承認後でも、学校行事等により使用できなくなることがありますのでご了承ください。

団体登録・利用方法等に関する問合せ

(財)新宿区生涯学習財団 ☎(3232)5122

学校施設開放全般に関する問合せ

生涯学習振興課地域教育係(3月31日まで)

☎(5273)3147

地域文化部生涯学習コミュニティ課生涯学習・スポーツ係(4月1日より)

☎(5273)3112

	新宿中学校	西早稲田中学校
1 学校施設活用運営委員会方式による学校体育館等団体使用		
使用施設	校庭、体育館、武道場、ミーティングルーム、和室 *この他にも、使用条件によって開放可能な施設があります。詳細については、左記問合せ先までお問い合わせください。	
使用日時	校庭・体育館 土・日・祝日 学校休業日9:00~21:00 (校庭は17:00まで)	校庭 土・日・祝日 学校休業日9:00~21:00
その他の施設	平日18:30~21:00、 土・日・祝日 学校休業日9:00~21:00	その他の施設 平日18:30~21:00、 土・日・祝日 学校休業日9:00~21:00
2 体育館夜間の個人使用		
使用施設	体育館・武道場(卓球のみ)	
使用日時	月~金曜日18:30~21:00	
使用種目	月:卓球、火:バドミントン、水:バレーボール、木:バスケットボール、金:バドミントン	
3 校庭スポーツ開放		
使用施設	校庭	校庭
使用日時	毎週日曜日9:00~17:00	第1・第3日曜日9:00~21:00 平日18:30~21:00
使用種目	小学生サッカー 一般テニス	一般野球 一般サッカー 女性ソフト 小学生野球

*校庭スポーツ開放の使用日時は季節によって変更します。

特別支援教育発表会

新宿区では、平成19年度より特別支援教育センターを設置し、支援チームが学校や幼稚園を訪問する巡回相談など、特別支援教育に関する新たな取り組みを始めています。特別支援教育とは、学習障害や高機能自閉症などの発達障害を含め、さまざまな障害のある子どもたちが自立し社会参加することを目標に、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすために必要な教育を行うものです。

区における特別支援教育の現状と課題について、学校・保護者・地域の方々に理解していただくため、1月19日(土) 四谷区民ホールで「特別支援教育発表会」を開きました。

はじめに、早稲田大学教授・本田恵子氏による基調講演「障害の理解と支援」が行われました。「脳の機能の発達のアンバランスは誰にでもある」として、右脳が優位な子どもは直感的に物事を捉えるため文字の理解や表現が苦手であり、左脳が優位な子どもは客観的に物事を見るが、こだわりが強く情緒の発達が遅れがちなので相手の気持ちを汲み取ることが苦手なことなどの説明がありました。また、「理解されずに苦しんでいることが多いため、それぞれの障害の特性を見極め、学習面・生活面で支援することが必要」と具体的な対策も示されました。

続いて、教員と保護者による事例の発表がありました。高機能自閉症の障害のあるお子さんの保護者は、健康診断で障害があるかもしれないと言われてから通級指導学級に通うまでの経緯を話し、「現在は、たくさんの方が我が子に関わってくれているため、オーダーメイドの教育を受けているようでありがたい。今の成長があるのは早い時期から適切な支援が受けられたからだと思う。迷っている保護者がいたら、まず相談してほしい」と会場に呼びかけました。

目白大学教授・船越知行氏による講演では、イギリスや滋賀県湖南市の実践例が紹介されました。

参加者からは、「学校の現状と課題がよくわかりました」「このような講演を現場の先生方にも聞いていただきたい」「特別支援教育をより充実させてほしい」という意見が寄せられました。



職場体験発表会

新宿区では、「将来の社会人」である中学生に対し、望ましい勤労観・職業観を育成することを目的とした職場体験事業を実施しており、平成19年度は、953名の生徒(主に中学2年生)が、7月~11月にかけて375ヶ所の様々な事業所等で2日以上職場体験に参加しました。

学校の積極的な取り組み等を紹介することにより、保護者、事業所、地域の方々に職場体験事業の意義を理解していただくため、2月2日(土) 牛込筆筒区民ホールで「職場体験発表会」を開きました。

はじめに、新宿中学校、西戸山第二中学校、牛込第一中学校、牛込第三中学校4校の生徒が、実際に体験した内容や感想をスライドショーや寸劇を交え発表しました。西戸山第二中学校は、様々な職種での体験を話し合っただけでなく、「働くために必要な三大要素は、適性、資格、責任」と発表しました。また、「将来の職業を考えるきっかけになっただけでなく、人の立場になって考えることを学んだ」「社会に出て責任を果たすことの大切さを感じた」と感想を話した学校もありました。

続いて行われたシンポジウムでは、受入事業所の方、保護者、スクールコーディネーター、落合中学校生徒が様々な立場から、職場体験の感想・課題などを語りました。牛込第二中学校スクール・コーディネーターの東陽一さんは、「子どもたちが多くの選択肢から希望する職種を選択できるよう、学校単位で事業所や地域と連携する必要がある」と今後の連携の大切さを訴えていました。

参加者からは、「表面的な学習ではなく、社会に密着した環境で体感した学習の成果がわかった」「学校やスクール・コーディネーターには受入事業所を確保する苦勞があり、受入事業所の方には受入の準備や工夫の苦勞があることを理解でき、様々な支援によって職場体験が成り立っている現状を知った」などの意見が寄せられました。



平成20年度は5日間以上の職場体験実施を目指しています。保護者、事業所、地域の方々のよりいっそうのご協力をお願いします。

生涯学習・スポーツ関連の組織が変わります

新宿区は平成20年4月に行政の効率化、統合化を一層進めるため、区の組織を全庁的に改正します。

教育委員会事務局では、生涯学習振興課の事務・事業がそれぞれの組織に移りますので、お知らせします。

	事業内容	移管先等
生涯学習・スポーツ係	生涯学習・スポーツに関すること ・財団法人新宿区生涯学習財団との連絡調整に関すること	地域文化部 生涯学習財団等担当課
	・社会教育会館及び区民ギャラリーに関すること ・新宿スポーツセンター、新宿コスミックスポーツセンター、大久保スポーツプラザ及び屋外スポーツ施設に関すること	地域文化部 生涯学習コミュニティ課 生涯学習・スポーツ係
地域教育係	・総合型地域スポーツ・文化クラブの振興に関すること ・体育指導委員に関すること ・学校施設開放事業に関すること	教育委員会事務局 教育政策課 地域家庭教育係
	家庭教育・PTA等に関すること ・社会教育委員に関すること ・家庭教育に関すること ・PTAの活動に関すること ・学校、家庭、地域の連携に関すること	教育委員会事務局 教育指導課 教育活動支援係
	スクール・コーディネーターに関すること	子ども家庭部 子どもサービス課 事業係
文化財係	子どもの居場所づくりに関すること	子ども家庭部 子ども家庭課 活動支援係
	地域の教育力の向上に関すること	子ども家庭部 子ども家庭課 活動支援係
	文化財に関すること ・新宿歴史博物館及び林芙美子記念館に関すること ・文化財の調査、保護及び活用に関すること ・文化財の指定及び登録に関すること ・文化財保護審議会に関すること	地域文化部 文化観光国際課 文化資源係

問合せ 教育政策課 ☎(5273)3074
生涯学習振興課(3月31日まで) ☎(5273)3112

教育委員就任にあたって



教育委員
羽原 清雅

政治家から大学に招かれて7年目。若者たちの姿に日々接して感じるのは、伸び伸びして素直だということ。民主主義のもと、個人が尊重され、自分を大切にすること自体、当然です。望ましいことです。

ただ、その自分の個性はあるが、ままで良いわけではなく、努力して自分を磨かなければ、個性を生かすことができません。

また、個人が大切ということは、社会の中での自分の存在をどう自覚するか、そして社会とどう付き合っていくか、ということになります。

学校だけではなく、家庭とも力を合わせて、根気よく取り組みたいものです。多くのご意見をお寄せ下さい。

かすことはできません。十人十色の時代であり、努力を強いることがむずかしい以上、それぞれが自覚して、おのれを鍛える方向に持つていかなければなりません。とすれば、自分がなにをしたいか、その目標というか志を設定し、それに向き合うことがまず必要でしょう。でも実態としては、流れに身を任せるか、自分のやりたいことの情報集めが不十分とか、もうひとつ頑張れば、能力が引き出せるのに、と思うケースが少なくありません。

こうした当たり前のことを、大学に入ってから体得するのは遅すぎます。学業は学業としてしっかり伸ばさなければいけません。やはり、幼児期、小中学校時代に人間としての基礎を構築することが重要です。情緒性を育てるなかで、社会との付き合い方を身につけさせたい、と大学生の実態を見るにつけ、強く感じています。

「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください。教育政策課企画調整係 ☎(5273)3074

親しまれる文化財をめざして

文化財は先人の長い歴史とさまざまな生活の中から育まれてきた貴重な財産です。教育委員会では、現在から未来に生きる人々へ確実に引き継ぎ、身近な郷土をより一層理解できるように、文化財の保護保存と公開、普及につとめていきます。

生涯学習振興課文化財係
☎(5273)3563

新宿区の文化財

現在、区内には、登録文化財が39件、特に重要な指定文化財が97件あります。区内に数多く存在する、古くからの寺院や神社に伝来した貴重な資料や、地域で大切に伝えられてきた民俗行事が中心となっています。最近では、昨年8月に、市谷葉王寺町にある浄栄寺に伝わった、「江戸時代の尺八」放(ほうげじゃく)と、この尺八が伝授された関連資料一式を指定有形民俗文化財にしました。毎年秋に行っている文化財の特別公開などは、多くの文化財に親しむ機会となっています。



指定有形民俗文化財「尺八 放下着」



浄栄寺特別公開

新たな文化財へ

文化財保護法が平成16年に改正され、文化財を積極的に活用するとともに、文化財の範囲を広げ、近代以降の資料についても、積極的に保護保存や公開を行うようになりまし。今後は、区内の個人や学校、企業が所蔵している資料も文化財の対象となっていきます。



文化財協力員の調査風景

また、文化財を地域の身近な文化資源として位置づけ、まちづくりや地域の魅力づくりのなかで、積極的に活用しようとする動きも全国的に広がっています。区では、平成18年度に区民のボランティア組織である「文化財協力員」を設立し、文化財に関する基礎調査や公開事業などを協働して行っています。

平成18年度の調査では、区内に残る近代建物の所在確認調査を行いました。戦後で多くの被害を受けたなかで、戦前に建てられた多くの貴重な建物が新宿区内にまだ残っていることを確認しました。平成19年度は、区内の小学校に伝わっている資料の調査を始めました。地域の方々の協力によって、学校には地域の貴重な資料が集まり、現在まで遺されていることがわかってきています。

今後も、区民が文化財に対して、身近にある地域の貴重な資源として関心をもち、後世に伝えるとともに活用していけるよう、文化財協力員と協働して、新たな文化財の発掘や文化財の保護保存公開活動を進めていきます。



昭和20年代 給食用ミルク入れ

1955

新宿歴史博物館 開館20周年記念事業 所蔵資料展

写真展 新宿風景

- 1955 ~ 1974 -

1974

新宿歴史博物館では、3月15日より開館20周年を記念して、昭和30年～40年代の新宿の街を中心に紹介する写真展を開催します。

本写真展では、東京オリンピックをはじめとする国民的行事や区民に身近な出来事などを撮影した新宿区広報写真を中心に100点以上の写真を公開します。最近よく目にするデジタル写真ではなく、すべて銀鉛によるオリジナルプリントでご覧いただけます。あわせて、当時の生活用品など様々な所蔵資料も展示します。

昭和30年代以降は、日本が戦後の混乱を終え、高度成長を遂げた時代です。そこには今日のように「モノ」があふれていなくとも、生きる希望と活力に満ちていた街と人々の姿があります。当時の新宿の街と人を写し出した

当時の新宿の街と人を写し出した

昭和30年代、40年代の 新宿

昭和30年代、新宿区は児童の増加による小中学校の増設や学校給食の実施など教育の充実に取り組んでいました。そのほかにも区道の整備や国・都への促進運動によって幹線道路や地下鉄を整備するなど、住みやすいまちづくりに力を入れていました。昭和35年には副都心開発公社が発足し、淀橋浄水場跡をはじめとする周辺地区は、めまぐるしい都市開発が進められました。

昭和30年代を締めくくるのは、なんと1939年10月に開催された「東京オリンピック」です。国立競技場と早稲田大学記念会堂の二つの会場があった新宿区には、いたるところにモニュメントが建



東京オリンピック 聖火リレーリハーサル(昭和39年)

てられ、区民による清掃運動も盛んに行われるなどオリピック気分を盛り上げていました。東京オリンピック景気に日本中が湧いた時期でした。



新宿西口でビルラッシュ(昭和43年)

昭和40年代になると、新宿区では児童館や図書館などの施設が数多く造られました。また、国鉄新宿駅が一日平均乗降客数日本一となります。明治18年に開業し、当初は「普段も、雨の日は一人も客のいないターミナル」といわれた新宿駅からは、誰も想像することができなかったでしょう。現在新宿駅は、日本を超え、世界一のターミナルとなっています。このように国鉄・私鉄や地下



廃棄される大正時代の机と椅子(昭和45年)

鉄が発展する一方、トロリーバスが昭和43年に、続いて昭和45年3月には都電が荒川線を残し、廃止となりました。



淀橋第二小スクールランチ(昭和47年)

新宿駅周辺ではビルの建設ラッシュが続く、現在の副都心の姿が形成されました。この頃、若者も新宿駅に集うようになり、フォークソング集やフーテン族の出現など若者文化の旺盛期を迎えます。

しかし、昭和40年代は景気が向上のよいことばかりではありません。大気汚染、水質汚濁などの公害問題や、第4次中東戦争勃発の影響を受け、日本の石油事情も危機にさらされました。戦後の好景気で社会全体に広がった大量消費、使い捨ての価値観が通用しなくなり、今日も私達が抱えている環境問題に初めて直面する時代が到来したのです。好景気のツケを残したまま、時代は昭和50年代へと引き継がれていきました。

新宿歴史博物館(三栄町22)
☎(3359)2131

【会期】平成20年3月15日(土)～5月18日(日)
【時間】9時30分～17時30分(入館は17時まで)
【観覧料】無料
【会場】新宿歴史博物館 地下1階企画展示室

平成19年度 読書感想文表彰

新宿区立小・中学校全校の作品の中から、区長賞4点が選ばれ、平成19年12月17日に「平成19年度 読書感想文表彰式」が行われました。区長賞をはじめ、優秀賞・優良賞を受賞した作品は、読書感想文集「けやき」に掲載されます。「けやき」は、各学校や区立図書館でご覧いただけます。
受賞されたみなさん、おめでとうございます。

【区長賞受賞者(敬称略)】

氏名	学校名	学年	作品名
山口 翔子	市谷小	1年	「あかちゃんがきた!」のダービドへ
金庭 実咲	落合第一小	3年	「きょうはいい日だね」を読んで
早田 怜生	落合第六小	5年	ストップ!地球温暖化
田邊 匡哉	西新宿中	2年	きよしこと出会う

教育指導課
☎(5273)3084

女神湖高原学園の指定管理者の指定

女神湖高原学園(ヴィレッジ女神湖)の新しい指定管理者が決定しました。

【指定管理者】株式会社フジランド

【指定期間】平成20年4月1日～平成25年3月31日

生涯学習振興課生涯学習・スポーツ係(3月31日まで)
☎(5273)3112
教育政策課地域家庭教育係(4月1日から)
☎(5273)3147

20年度から 「放課後子どもひろば」 が6校増えます



今年度から区内6校の小学校(鶴巻・富久・戸山・戸塚第二・落合第四・柏木)で実施している「放課後子どもひろば」が、20年度は新たに6小学校(津久戸・市谷・四谷・大久保・戸塚第一・落合第六)で始まります。

今後、順次開設し、平成23年度には区立小学校全校で実施する予定です。

*「放課後子どもひろば」は、学校施設を利用して、子ども同士が自由に交流できる遊びと学びの場です。

【実施校】津久戸・市谷・鶴巻・富久・四谷・大久保・戸山・戸塚第一・戸塚第二・落合第四・落合第六・柏木小学校

【実施日時】原則月～金の放課後から最長18時、夏休み・開校記念日等学校休業日は10時から最長18時
終了時刻は学校により異なります。

【対象】区内在住の児童で保護者が事前に登録した者

【費用】年額200円程度(保険料相当分)
詳しくは(財)新宿区生涯学習財団までお問い合わせください。
ただし、富久子どもひろばは☎(3358)9072へ

放課後子どもひろばのパート職員及び
ボランティアを募集しています

☎(財)新宿区生涯学習財団 事業課
☎(3232)7701

新宿区 教育委員会の動き

教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した5名の委員で構成する合議制の執行機関です。

会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。

今号では、平成19年12月7日から平成20年3月3日までに行われた教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

議案

新宿区立学校施設の活用に関する規則の一部を改正する規則

新宿区教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

新宿区文化財保護審議会委員の委嘱について
新宿区指定天然記念物「カキ」の指定解除について
平成20年度新宿区一般会計予算

報告事項

教育振興基本計画の策定について
地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進について
牛込地区学校適正配置に関する意見書について
第68回国民体育大会競技会開催に係る合意書の提出について
新宿区立図書館基本方針(最終報告)について



20年4月 社会教育会館は 生涯学習館に生まれ変わります!

新宿区では、区民の皆様の生涯学習・スポーツ活動を総合的に支援していくため、4月の組織改正で、生涯学習・スポーツ部門及び施設を教育委員会から地域文化部に移します。
これに伴い社会教育会館も、皆様幅広く学び・集い・文化的活動等で利用できる施設「生涯学習館」として生まれ変わります。

1. 利用概要 生涯学習活動を行う団体は、事前に登録することにより、学習活動で利用する際に利用料金の減額や先行申請の対象となります。現在の社会教育会館の登録団体も改めて登録が必要です。施設の利用時間・料金・利用申込み方法は従来どおりです。
2. 登録受付 4月以降に利用する生涯学習館で、現在団体登録を受け付けています。(落合社会教育会館・西戸山社会教育会館分館では登録できません)

問合せ

登録や利用に関して
新宿区生涯学習財団 ☎(3232)7701
その他全般に関して
生涯学習振興課生涯学習・スポーツ係(3月31日まで)
地域文化部生涯学習コミュニティ課生涯学習・スポーツ係(4月1日より)
☎(5273)3112まで。

社会教育会館の閉館

落合社会教育会館(中落合4-25-19)と西戸山社会教育会館分館(高田馬場3-40-3)は、20年3月末で閉館となります。永年のご利用ありがとうございました。

落合社会教育会館まつり開催!

利用者をはじめ地域や区民の皆様に感謝の意をこめ、利用団体の学習活動・作品などを展示紹介します。どなたでもお気軽にご来場ください。

- 【日時】3月29日(土)午前10時～午後4時まで
- 【会場】落合社会教育会館(中落合4-25-19)
- 【内容】作品展示、お茶会、茶話会、チャリティ一等
- 【問合せ先】落合社会教育会館 ☎(3954)0960

貸出用CD・DVD・ビデオがますます充実!

中央図書館視聴覚室から

中央図書館4階の視聴覚室では、貸出用CD・DVDなどを豊富にご用意しています。

DVDは、19年4月から20年1月までに243枚増え、今後さらに購入する予定です。子ども向けの資料も充実していますので、ぜひご利用ください。

【所蔵資料】

- *平成20年1月31日現在
- CD.....10,441枚
- DVD.....1,169枚
- ビデオ.....2,755本
- 16mmフィルム.....596本

*CDは四谷・角筈・大久保・戸山図書館でも所蔵しています。

16mm映写機操作講習会の修了証をお持ちの方がいる区内の団体に、映写機やスクリーンと一緒に貸し出します。(営利目的での利用はできません。)

【映画の上映】

視聴覚ホール(定員100名)で随時開催。無料。「子ども映画会」は毎月1～2回、土曜日の午後、「映画の夕べ」は毎月第3金曜日の午後6時～8時。上映予定は図書館ホームページ等で確認してください。

*新着情報やイベント情報なども、ホームページで紹介しています。

☎(3364)1421
新宿区立中央図書館視聴覚室

問合せ